

研 究 成 果 情 報		園 芸	7	野菜	栽培
新技術・情報名	なばなの周年出荷のための播種期別栽培法			分類	①

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

なばな (*Brassica napus* L.) を安定的に周年出荷するため、播種期別に栽培法や収穫法を交える作付体系を確立した。

(1) なばな (京築在来種) は収量特性、病虫害の発生状況からみて、3~8月播種の条播による4~9月出荷は一斉収穫方式、8~9月播種の移植栽培による10~3月出荷は側枝収穫方式を組み合わせることにより周年出荷できる。

(2) 3月から9月まで播種することにより周年生産は可能であるが、5月~7月播種の側枝収穫方式では栽培期間が長いため病虫害の発生が多く、品質も低下して生産が不安定である。

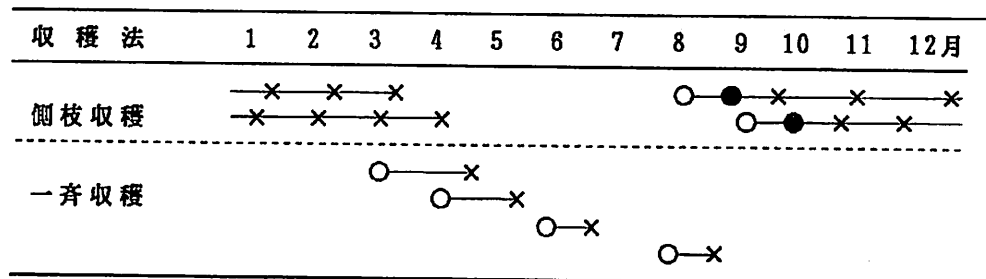


図1 周年出荷のための作付け・収穫パターン

○：播種， ●：移植， x：収穫

2) 技術・情報の適用効果

なばなの播種期別栽培法の確立により、安定的な周年供給が可能になる。

3) 適用範囲

県下全域

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

一斉収穫方式は側枝収穫方式より生育期間が短いために、基肥施用量 (窒素、リン酸、カリの各分量) は2~3割減じ10a当たり10~12kgとする。

## 2. 具体的データ

表1 側枝収穫方式における播種期別収量・品質 (平成2年)

播種日	収穫始期	収量	外観品質	病害虫の発生状況			普及性
				ジカ	軟腐病	黒腐病	
月日		kg/10a					
5 1	7月上旬	4280	下	多	多	中	なし
6 1	7月下旬	4570	下下	多	中	中多	なし
7 1	8月下旬	4700	下	中	中	多	なし
-----							
8 1	9月下旬	3330	中	中~少	少	中~少	あり
9 1	10月下旬	2230	中上	微	無	無	あり

注) ① 移植栽培を行い、5月播種は5葉期までハウス内で育苗した。  
 ② 2~4月播種は5月中~下旬に抽苔した。  
 ③ 品質は上、中、下の3段階、病害虫の発生は無、微、少、中、多の5段階で評価した。

表2 一斉収穫方式における生育及び収穫物の特性 (平成3年)

播種日	収穫日	収穫までの日数	収量	1株重量	外観品質	最大葉		ジカ発生状況
						葉長	葉幅	
月日	月日	日	kg/10a	g		cm	cm	
3 1	4 21	52	980	23.5	上	23.1	10.3	微
4 1	5 6	36	897	21.5	上	23.6	9.2	少~微
6 1	6 25	25	555	13.3	中	23.5	9.1	少~微
8 1	8 25	25	425	10.2	中	23.5	7.9	少~微

注) ① 栽培法は条間15cmに条播し、株間10cmに間引きした。  
 ② 品質は上、中、下の3段階、病害虫の発生は無、微、少、中、多の5段階で評価した。

## 3. その他の特記事項

担当部 科室名: 豊前分場 普通作物研究室  
 研究担当者名: 小田原孝治・松江勇次  
 研究課題名: なばなの安定栽培技術  
 期間: 平成2年~平成3年  
 予算区分: 経常  
 既発表論文・資料名等: 平成2~3年度 豊前分場 普通作物研究室  
 野菜試験成績書  
 取りまとめ責任者名: 小田原孝治